

平成16年度

大気汚染と花粉症の相互作用に関する調査研究
(疫学研究)

研究報告書

平成17年3月

財団法人 日本公衆衛生協会

目 次

大気汚染と花粉症の相互作用に関する調査研究（疫学研究）

1. はじめに	1
2. 対象と方法	2
(1) 疫学調査に用いる調査票の作成	2
(2) 花粉症患者を対象とした調査	2
(3) 環境測定	3
(4) 倫理面での配慮	4
3. 結果と考察	5
(1) 調査実施状況	5
(2) 調査対象者の住居環境	5
(3) 昨年1年間の鼻・眼の症状	5
(4) 医師による花粉症の診断	6
(5) 最近3年間の症状	7
(6) 鼻・眼の春季持続性症状の有無による比較	8
(7) 調査票に対する意見	10
(8) 環境測定の結果	10
4. まとめ	13
図表	14
別添1 〈環境と花粉症に関する調査票〉	35
別添2 〈花粉曝露調査にご協力いただく皆様へ〉	47
別添3 「環境と花粉症に関する研究」についての説明書	50
別添4 〈同意書〉	52

平成16年度大気汚染と花粉症の相互作用に関する調査研究（疫学研究）

○ 研究者名簿

島 正之 兵庫医科大学公衆衛生学教授

田村 憲治 独立行政法人国立環境研究所
環境健康研究領域疫学・国際保健研究室主任研究員

新田 裕史 独立行政法人国立環境研究所
PM2.5・DEP 研究プロジェクト疫学・曝露評価研究チーム総合研究官

深澤啓二郎 兵庫医科大学耳鼻咽喉科学助教授

藤江 徹 財団法人公害地域再生センター研究員